

みちのく山形の霊場

最上三十三観音 巡礼マップ

いにしえびとの心が

今に息づく歴史の面影

匠が造った文化財でもなければ

金や朱に彩られた華美な御堂もない

そこにあるのは

土地の人々に受け継がれた古の温かい心だけ…

心の故郷みちのく古寺巡礼

最上三十三観音札所の歴史と魅力

みちのく山形の霊場「最上三十三観音」札所は、開創が五百年以上までさかのぼる国内有数の歴史を持つ巡礼地です。

各札所は、松尾芭蕉の「五月雨をあつめて早し最上川」で有名な最上川に沿って、南は山形県上市市から北は秋田県境付近の鮭川村までいずれも風光明媚な地に点在しています。

最上三十三観音札所霊場の魅力は、

- ①お堂のなかでお経が読める素朴な雰囲気
- ②疲れを癒す温泉群
- ③果物・おそば・お米などの味の観光
- ④山と川そしてお堂が織りなす景観
- ⑤素朴な人情とおもてなしのこころ

等が挙げられ、全国各地から多くの観音信仰篤き善男善女が巡礼されています。

最上三十三観音 巡礼縁起 光姫物語 (抜粋)

最上札所草創の頃と思われる次のような伝説が残されています。

山形城主最上家五代目頼宗公のひとり娘「光姫」は、熱心な観音信者でありましたが、その美しさの故に光姫をめぐる争いが絶えませんでした。それを憂えた光姫は出家し、観音霊場巡礼に旅立つのであります。途中、旅の見世物師と称する老人と出会い、一番若松から三十三番までの道筋を教えられましたが、この老人こそ観世音菩薩の変化したお姿だったのです。一ヶ月余りの苦修練行の後、結願三十三番庭月観音にたどり着いた光姫のこころは、観音妙智力により、清浄と安らぎを得たのであります。その後も靈験を求め、あまたの善男善女が参拝するようになり、最上三十三観音巡礼が世間に広まっていったと伝えられています。

観音様の靈験とは?

観音様の正式名称は「観世音菩薩」(あるいは観自在菩薩)で、「世の人々の救いを求める声(音)を聞くと、直ちに救済して下さる」というホトケ様です。

その救済にあたって観音様はお姿を三十三に変えて教え導いて下さるので「三十三応現身」(さんじゅうさんおうげんしん)とされています。



巡礼での心得

札所(霊場)参りをしてみようと思ったとき、また、ひとから誘われて一緒に行こうと考えたときが巡礼の第一歩であります。

巡礼してみようと思いつキッカケは人によって様々だと思いますが、巡礼するご縁があったこと、巡礼できる幸せに先ず感謝したいものです。

「同行二人」、いつも観音様と一緒に歩いているという心持ちで巡礼し、道中では行き逢う人にもあいさつをし、親切にするよう心がけましょう。

お堂の中では、心を落ち着けるつもりで静かに手を合わせ、心の中だけでも結構ですから「南無観世音菩薩」とお唱え下さい。そして静かに顔をあげて観音様と向き合ったとき、必ずや観音様があなたに何か語りかけてくださるはずですよ。観音様との対話は、言い換えれば自分自身との対話でもあるのです。

札所に一歩足を踏み入ると、そこは浄域ですから、姿勢・服装を正し、次のことは守りたいものです。

- 1、巡礼の目的を認識し、霊場の建造物・庭園等を大切に、火の用心を心がけましょう。
- 2、騒々しい行いや、動作はつつしみましょう。
- 3、手を清め、口をすすいで、さっぱりとした気持で参拝しましょう。
- 4、「納め札」は所定の所に貼るか、または、納経箱に納めて下さい。
- 5、「千社札」を貼ることは禁止されております。納経箱、または、納経所に納めて下さい。

すべてのものに感謝し、「おかげさまで」と思う心が大事です。一心に観世音菩薩の名号を唱えながら、家内安全・二世安楽を願い、ご先祖様の菩提を願い、一切衆生(生きとし生けるもの)に慈悲をまわす祈りの旅、それが「巡礼」であります。

札所(霊場)での作法

1. 山門の前で合掌し、境内に入らせて頂きます。
2. 水屋で手を清め、口をすすぎます。
3. 鯛口を打ち鳴らし、本堂の向拝(入口)で、所定の箱に納札や写経を納めます。
4. お堂に入りお灯明・線香を点し、お賽銭をあげます。
5. ご本尊を念じ、合掌して読経します。(心経、観音経、十句観音経、本尊名号、回向文など)
6. 納経所で、おいずり・納経帳・掛軸などに、ご朱印を捺して頂きます。
7. 山門のところで振り返り、もう一度合掌をし、境内を出ます。

※巡礼では参詣の証として、観世音菩薩の種子が刻まれている「ご朱印」を捺して頂くことが大事です。

※「金札」を授かったらお賽銭をあげ、合掌して頂いて下さい。お守りとなります。

参拝時間(原則)

午前7:00 ~ 午後5:00

一部 午前8:00 ~ 午後5:00

※上記の時間外に参拝を希望される場合は、その札所へ電話をして下さい。

納経料(朱印料)

- おいずり …… 200円(二印。三印は300円)
- 納経帳 …… 300円(重ね印も同)
- 掛軸 …… 500円
- 御影 …… 200円(印なし。主印ありは300円)



納経帳(最上札所別当会指定)▲



御影▲



巡礼の持ち物

- 半袈裟(はんげさ) …… 略式の法衣として着用します。
- 数珠(じゆず) …… 参拝の際、手を合わすときにかけます。
- 経本(きょうほん) …… 般若心経や十句観音経、御詠歌などが書かれています。
- おいずり …… ご朱印を捺して頂くためのものです。(おいずりの他 納経帳、御影、掛軸などがあります)
- 納札(おさめふだ) …… 巡礼の願いを記したもので、回数によって札の色が違います。

- その他必要なもの ロウソク、線香、賽銭、納経料など

※持ち物は各札所や、仏具店などでお求め頂けます。



笈摺(おいずり)

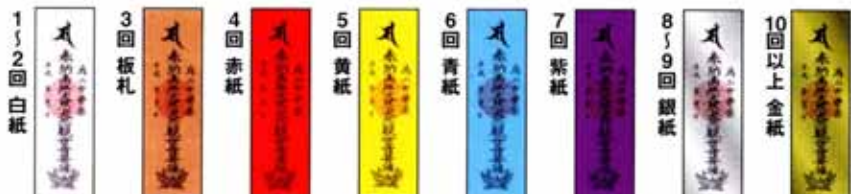
札所めぐりに必ず身につける「おいずり」は、その昔、西国巡礼の祖である徳道上人と花山法皇が巡礼したとき、笈中に観世音の尊像を安置してこれを背負ったので、俗身に笈が直接ふれることを恐れ清浄な白衣を着たのに始まったと伝えられ、笈摺(おいずり)の名はこれより出たとされています。

しかし、札所めぐりも長い道中であるので、しだいに笈を背負うことを略し、代わりに笈摺の背の三幅の布の真ん中に観世音の種子を書いて、笈や観音像のかわりと考えるようになったとされています。

現在は、おいずりに「ご朱印」を捺して頂き、死後の旅路に着けるものとされています。

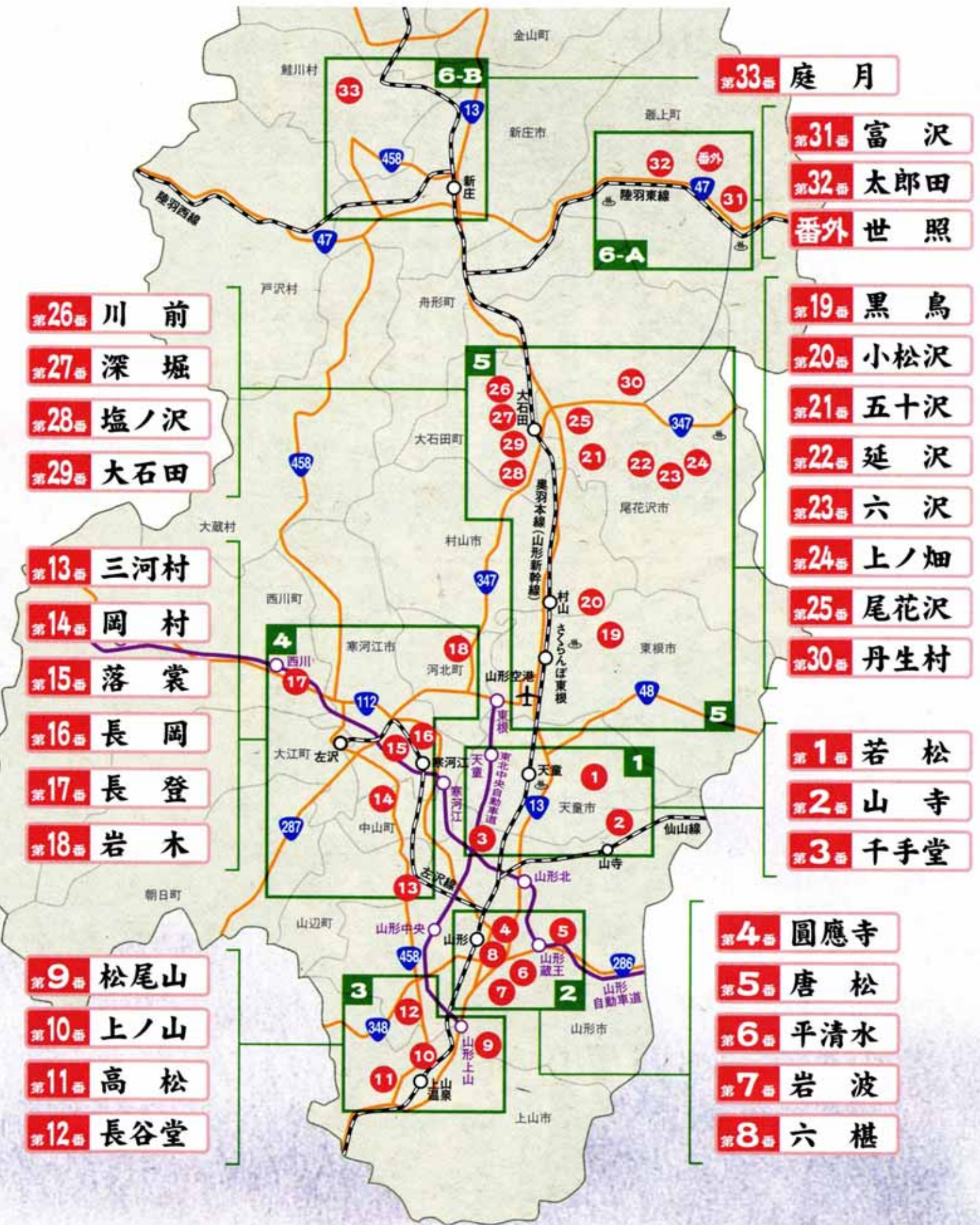
納札(おさめふだ) 巡礼の願いを記したもので、一カ所に一体納めてお参りします。

- | | |
|----------|----------|
| 1・2回: 白紙 | 6回: 青紙 |
| 3回: 板札 | 7回: 紫紙 |
| 4回: 赤紙 | 8・9回: 銀紙 |
| 5回: 黄紙 | 10回: 金紙 |



金札は百回目から貼るのを本式と考えられていましたが、その十分の一である十回から許されるものだとされています。

最上三十三観音札所位置図



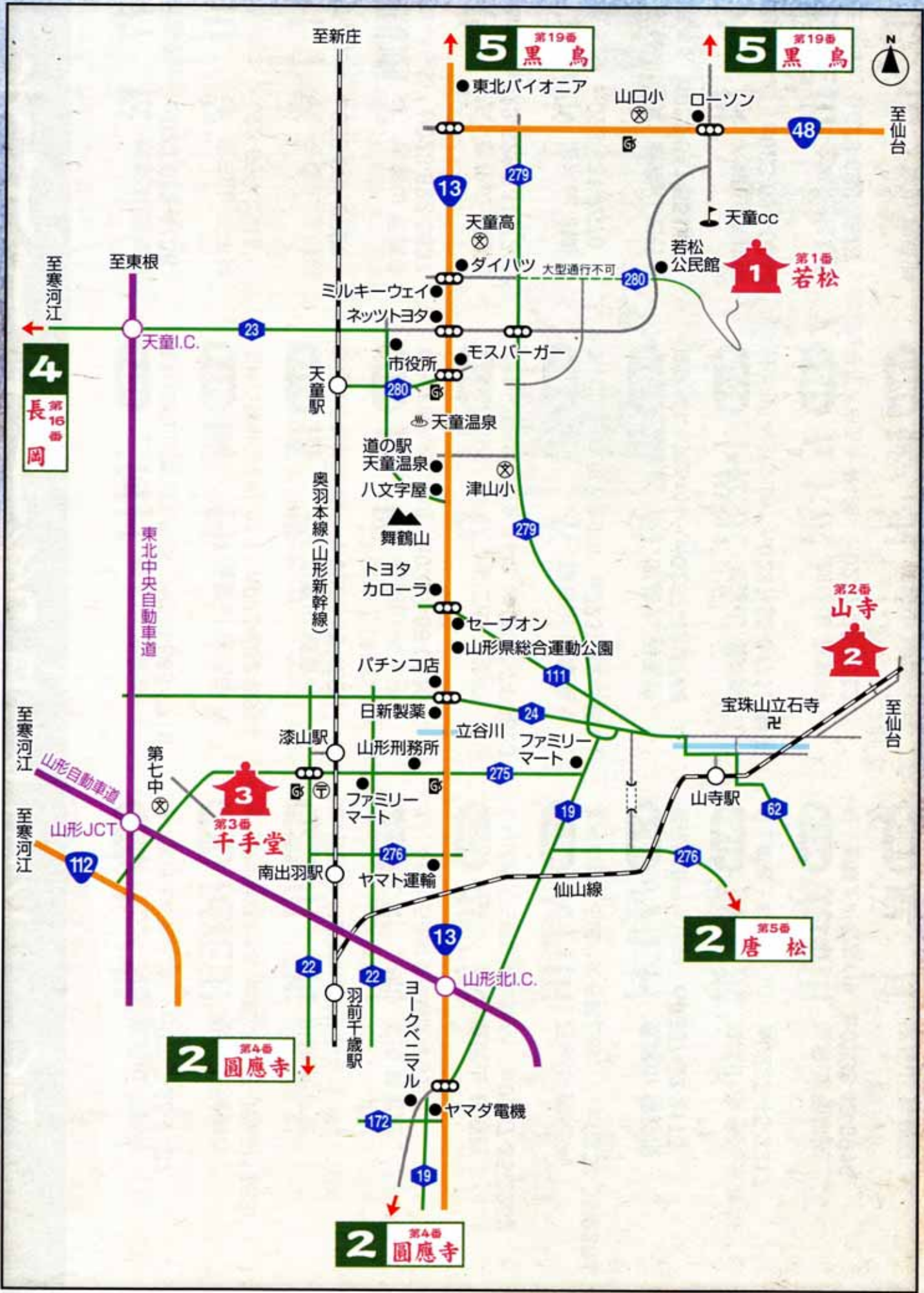
山形自動車道 高速道路 13 国道 22 県道 一般道路 鉄道線路

⊗ 学校 Ⓚ 銀行 〒 郵便局 Ⓜ ガソリンスタンド ⚕ 病院・医院 Ⓜ 信号機 Ⓜ 寺院 ♨ 温泉

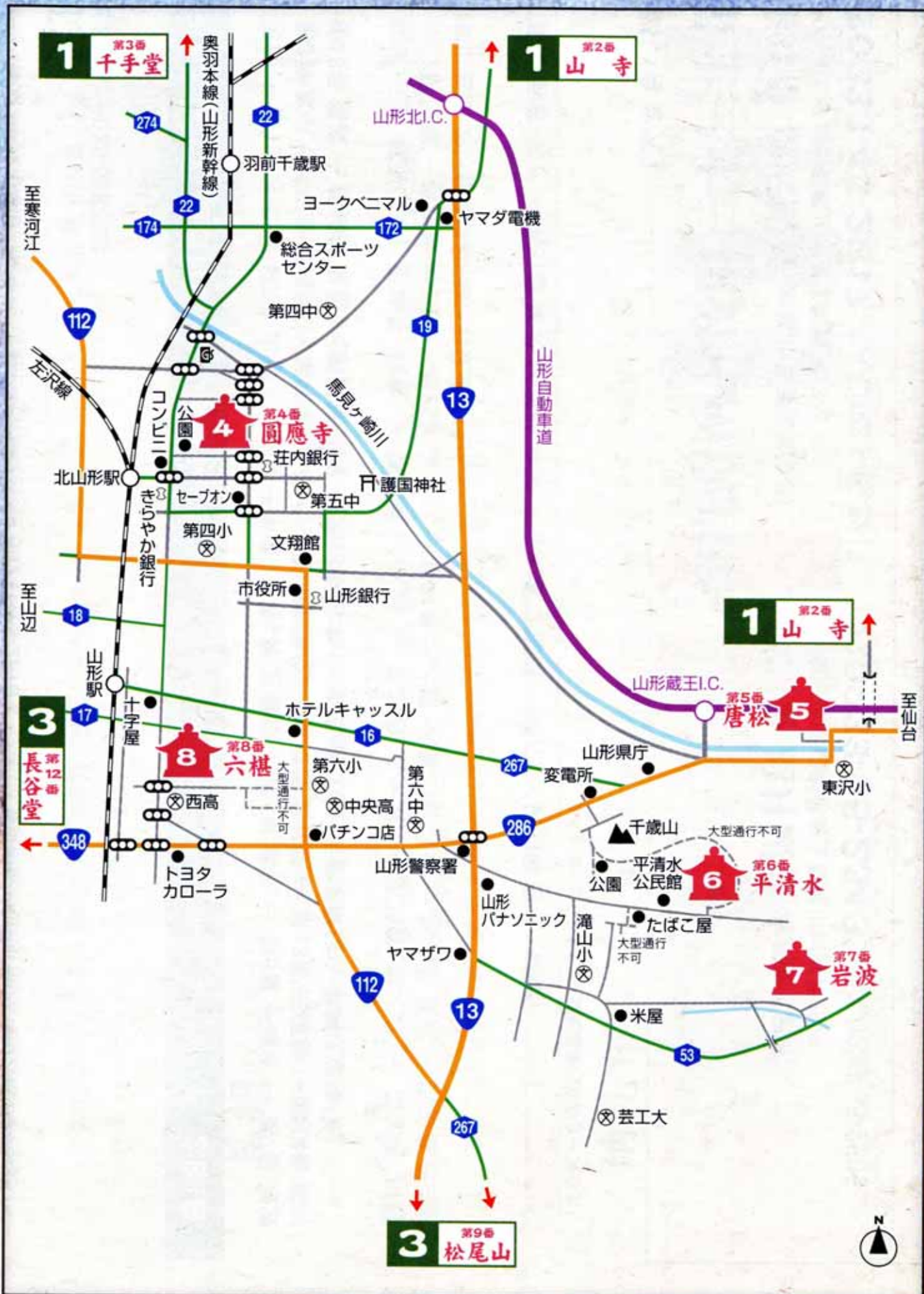
【天童・山形市北部】

第1番 若松(鈴立山 若松寺) ▶ 第2番 山寺(宝珠山 千手院) ▶ 第3番 千手堂(守国山 吉祥院) ▶

第4番 圓應寺(大慈山 圓應寺)



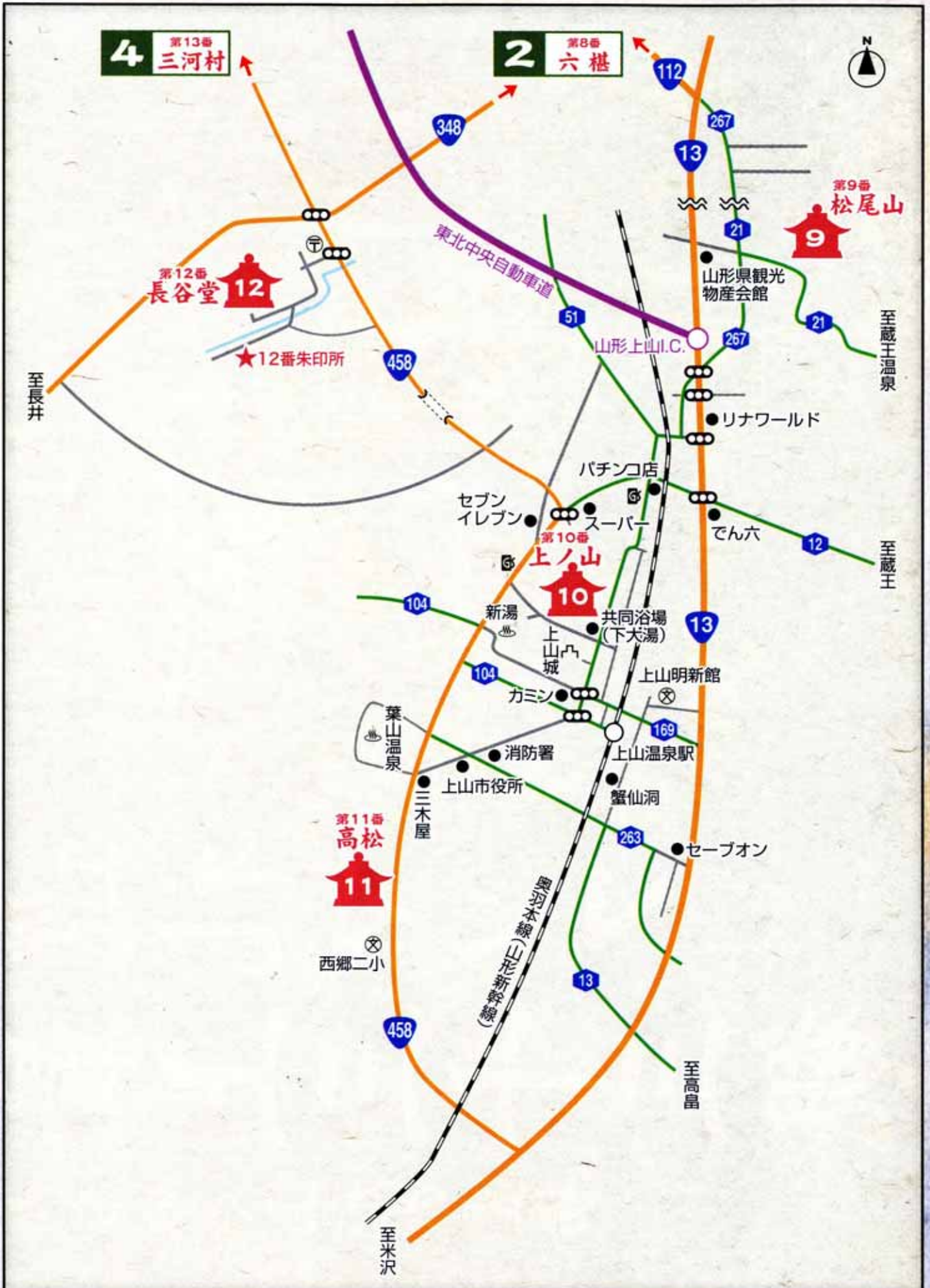
第4番 圓應寺(大慈山 圓應寺) ▶ 第5番 唐松(唐松山 護国寺) ▶ 第6番 平清水(清水山 耕龍寺) ▶
第7番 岩波(新福山 石行寺) ▶ 第8番 六楯(六楯山 宗福院) ▶ 3 第9番 松尾山(金峰山 松尾院)



3

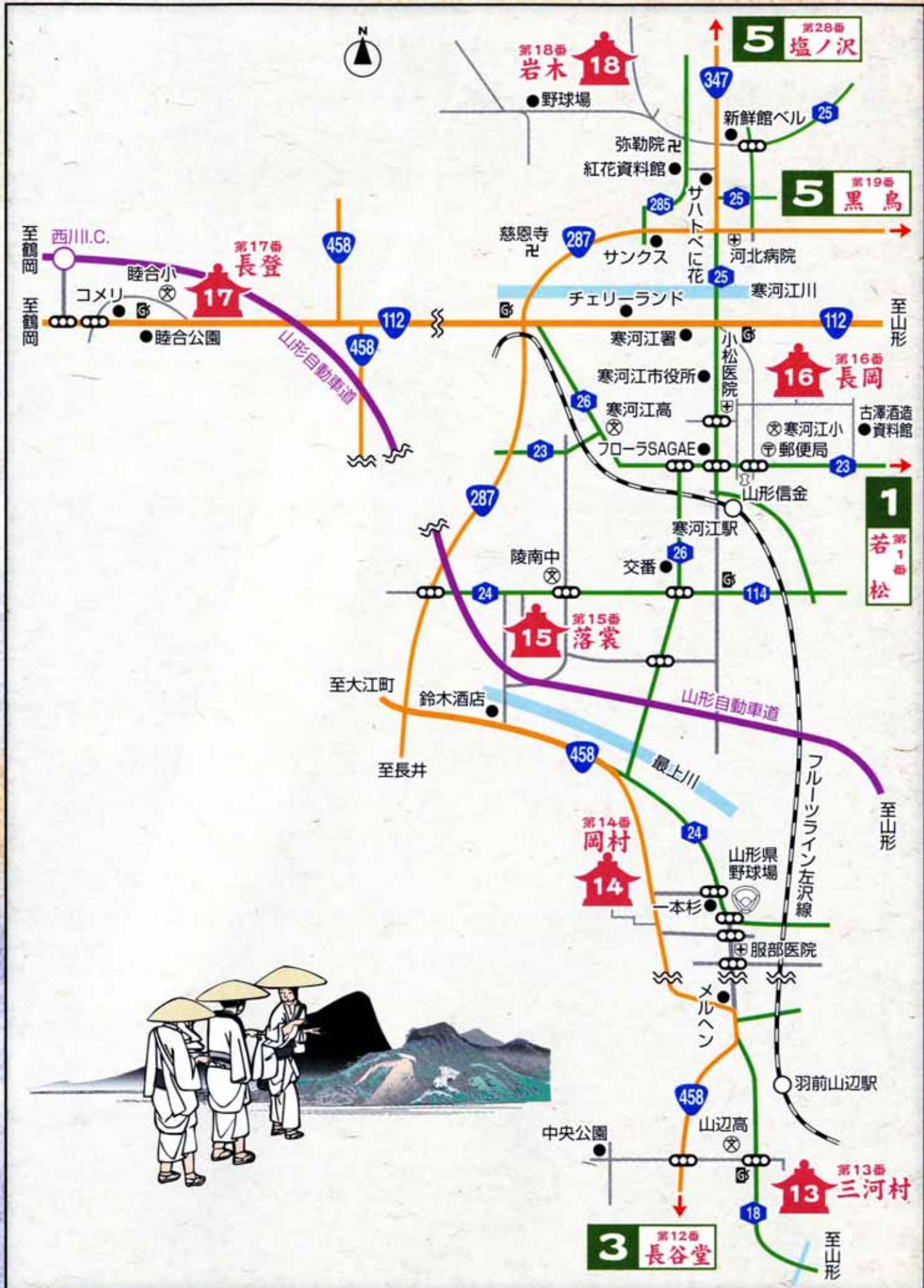
【山形市南部・上山】

第9番 松尾山(金峰山 松尾院) ▶ 第10番 上ノ山(水岸山 観音寺) ▶ 第11番 高松(高松山 光明院)
▶ 第12番 長谷堂(長谷山 長光院) ▶ 4 第13番 三河村(観音山 常福寺)



【寒河江・西川・河北・中山・山辺】

- ▶ 第13番 三河村(観音山 常福寺) ▶ 第14番 岡村(金剛山 正法寺) ▶ 第15番 落裳(京集山 観音寺)
- ▶ 第16番 長岡(長岡山 長念寺) ▶ 第17番 長登(寒江山 長登寺) ▶ 第18番 岩木(恵日山 慈眼院)
- ▶ **5** 第19番 黒鳥(東根山 秀重院)



1 第1番 若松

5 第28番 塩ノ沢

5 第19番 黒鳥

16 第16番 長岡

18 第18番 岩木

17 第17番 長登

15 第15番 落裳

14 第14番 岡村

13 第13番 三河村

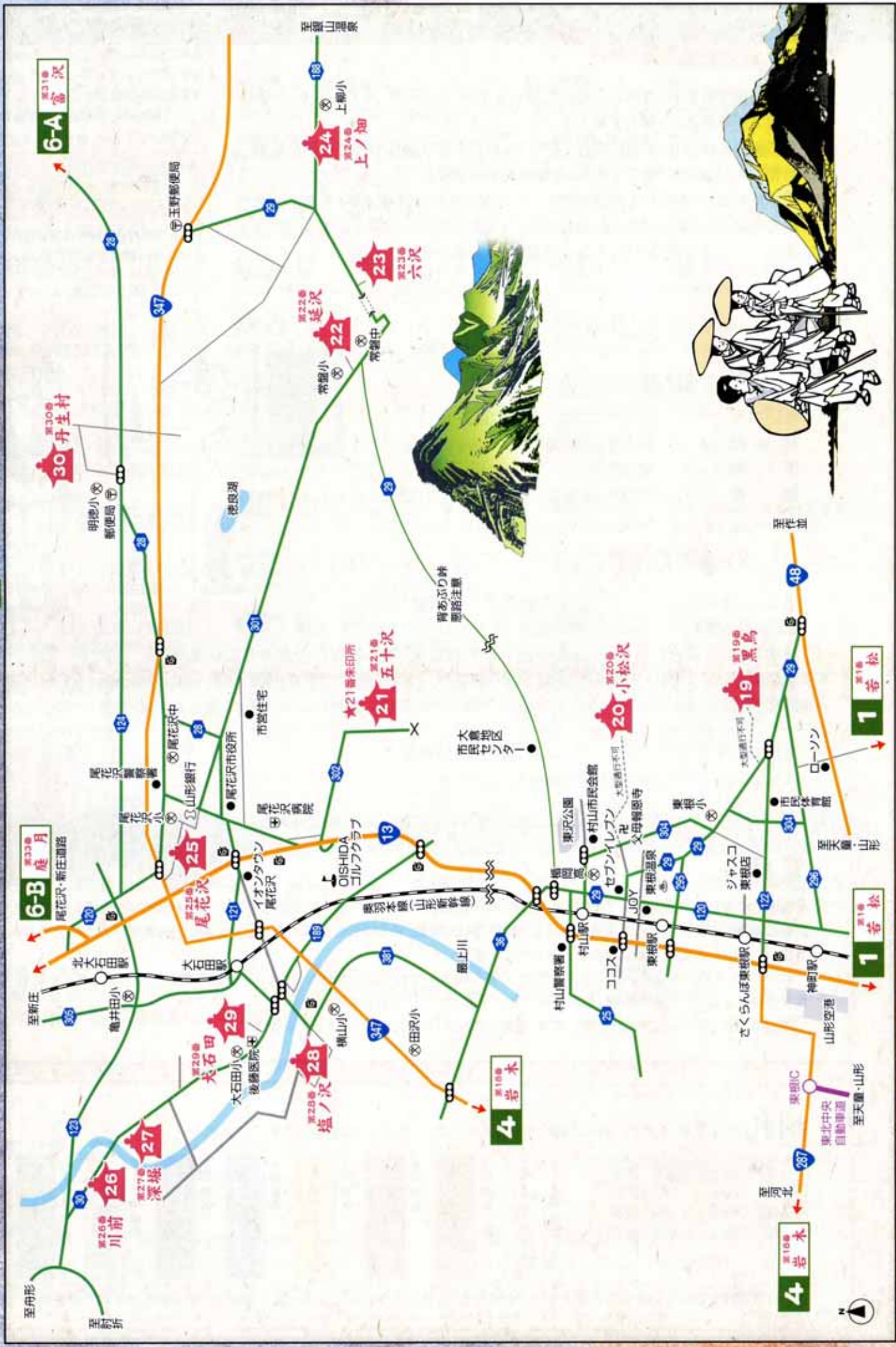
3 第12番 長谷堂

【尾花沢・大石田・村山・東根】

第19番 黒鳥(黒桐山 秀圓院) ▶ 第20番 小松沢(青蓮山 清淨院) ▶ 第21番 五十沢(如金山 聖教寺) ▶
 第22番 延沢(袴巻山 龍蓮寺) ▶ 第23番 六沢(光沢山 円照寺) ▶ 第24番 上ノ畑(生沢山 聖師寺) ▶
 第25番 尾花沢(弘福山 聖泉寺)

【尾花沢・大石田・村山・東根】

第25番 尾花沢(弘福山 聖泉寺) ▶ 第26番 川前(川前 観音堂) ▶ 第27番 深塚(香林山 清行院) ▶
 第28番 塩ノ沢(塩沢山 普濟院) ▶ 第29番 大石田(石水山 西光寺) ▶ 第30番 丹生村(龍尾山 般若院)
 ▶ 6-A 第31番 富沢(浪高山 東照院光満寺)



6-B 第33番 庭月
尾花沢・新庄道路

30 第30番 丹生村
明徳小
郵便局

6-A 第31番 富沢

21 第21番 茶印所
五十沢

20 第20番 小松沢

19 第19番 黒鳥

4 第16番 岩木

1 第11番 岩松

1 第1番 岩松



【最上・鮭川】

第31番 富沢(波高山 東善院光清寺) ▶ 番外 世照(臥龍山 天徳寺) ▶ 第32番 太郎田(慈雲山 明学院)
▶ 第33番 庭月(庭月山 月蔵院)



最上三十三観音 札所一覽

- | | | |
|---|--|--|
| <p>第1番 若松 鈴立山 若松寺
天童市山元2205-1 ☎023-653-4138</p> <p>第2番 山寺 宝珠山 千手院
山形市山寺4753 ☎023-695-2845</p> <p>第3番 千手堂 守国山 吉祥院
山形市千手堂509 ☎023-684-8026</p> <p>第4番 圓應寺 大慈山 圓應寺
山形市宮町4-16-33 ☎023-622-3937</p> <p>第5番 唐松 唐松山 護国寺
山形市釈迦堂7 ☎023-629-2313(2405)</p> <p>第6番 平清水 清水山 耕龍寺
山形市平清水95 ☎023-631-7570</p> <p>第7番 岩波 新福山 石行寺
山形市岩波115 ☎023-641-6514</p> <p>第8番 六椏 六椏山 宗福院
山形市鉄砲町1-2-20 ☎023-631-0048</p> <p>第9番 松尾山 金峰山 松尾院
山形市蔵王半郷2 ☎023-688-3328</p> <p>第10番 上ノ山 水岸山 観音寺
上山市十日町9-29 ☎023-672-1421</p> <p>第11番 高松 高松山 光明院
上山市高松53 ☎023-672-0440</p> <p>第12番 長谷堂 長谷山 長光院
山形市長谷堂23-3 ☎023-688-5901</p> | <p>第13番 三河村 観音山 常福寺
東村山郡山辺町三河尻23 ☎023-665-7716</p> <p>第14番 岡村 金剛山 正法寺
東村山郡中山町岡102-1 ☎023-662-2536</p> <p>第15番 落裳 京集山 観音寺
寒河江市柴橋2494-1 ☎0237-86-4308</p> <p>第16番 長岡 長岡山 長念寺
寒河江市丸内2-4-19 ☎0237-86-0016</p> <p>第17番 長登 寒江山 長登寺
西村山郡西川町睦合乙142 ☎0237-74-3853</p> <p>第18番 岩木 恵日山 慈眼院
西村山郡河北町岩木570 ☎0237-72-3191</p> <p>第19番 黒鳥 東根山 秀重院
東根市本丸南2-10-2 ☎0237-42-4748</p> <p>第20番 小松沢 青蓮山 清浄院
村山市小松沢6500 ☎0237-55-6171(寺院用)</p> <p>第21番 五十沢 如金山 喜覚寺
尾花沢市五十沢488 ☎0237-22-2582</p> <p>第22番 延沢 祥雲山 龍護寺
尾花沢市延沢925-1 ☎0237-28-2331</p> <p>第23番 六沢 光沢山 円照寺
尾花沢市六沢741-3 ☎0237-28-2319</p> | <p>第24番 上ノ畑 宝沢山 薬師寺
尾花沢市上柳波戸207 ☎0237-28-2437</p> <p>第25番 尾花沢 弘誓山 養泉寺
尾花沢市桒町2-4-6 ☎0237-22-0669(1763)</p> <p>第26番 川前 川前 観音堂
北村山郡大石田町川前地区持ち回り</p> <p>第27番 深堀 深堀 観音堂
北村山郡大石田町豊田地区持ち回り</p> <p>第28番 塩ノ沢 塩沢山 曹源院
北村山郡大石田町横山327-1 ☎0237-35-2262</p> <p>第29番 大石田 石水山 西光寺
北村山郡大石田町大石田乙692-1 ☎0237-35-2364</p> <p>第30番 丹生村 鷹尾山 般若院
尾花沢市丹生1699 ☎0237-22-2175</p> <p>第31番 富沢 浪高山 東善院光清寺
最上郡最上町富沢1378 ☎0233-45-2217</p> <p>第32番 太郎田 慈雲山 明学院
最上郡最上町若宮119 ☎0233-43-3916</p> <p>第33番 庭月 庭月山 月蔵院
最上郡鮭川村庭月2829 ☎0233-55-2343</p> <p>番外 世照 臥龍山 天徳寺
最上郡最上町向町1495 ☎0233-43-3935</p> |
|---|--|--|

[モデルコース] 自家用車・バス・タクシー

2泊3日

- | |
|---|
| <p>第1日 天童 → 第1番 若松 → 第2番 山寺 → 第3番 千手堂 → 第4番 圓應寺 → 第5番 唐松 → 第6番 平清水 → 第7番 岩波 → 第8番 六椏 → 第9番 松尾山 → 第10番 上ノ山 → 第11番 高松 → 第12番 長谷堂 → 第13番 三河村 → 第14番 岡村 → 第15番 落裳 → 第16番 長岡 → 第17番 長登 → 第18番 岩木 → 東根温泉(泊)・天童温泉(泊)・寒河江温泉(泊)</p> |
| <p>第2日 東根・天童・寒河江 → 第19番 黒鳥 → 第20番 小松沢 → 第21番 五十沢 → 第28番 塩ノ沢 → 第26番 川前 → 第27番 深堀 → 第29番 大石田 → 第25番 尾花沢 → 第24番 上ノ畑 → 第23番 六沢 → 第22番 延沢 → 第30番 丹生村 → 銀山温泉(泊)・赤倉温泉(泊)・瀬見温泉(泊)</p> |
| <p>第3日 銀山・赤倉・瀬見 → 第31番 富沢 → 番外 世照 → 第32番 太郎田 → 新庄 → 第33番 庭月 結願</p> |

※その他、上山温泉(泊)・蔵王温泉(泊)のコースもあります。

[お問い合わせ先]

最上三十三観音札所別当会

第31番 富沢観音 (浪高山 東善院光清寺)
〒999-6105 山形県最上郡最上町富沢1378

☎0233-45-2217 FAX.0233-45-2217

第33番 庭月観音 (庭月山 月蔵院)
〒999-5207 山形県最上郡鮭川村庭月2829

☎0233-55-2343 FAX.0233-55-2505

最上三十三観音公式ホームページ <http://www.mogami33.com/>